

定期監査結果の概要について

監査対象	原子燃料工業熊取事業所	メロックス社メロックス工場
実施体制	<p>管理責任者：原子力事業本部原子燃料部門統括 監査員：監査員および検査員として社内承認された当社社員 （監査リーダー1名、監査員2名）</p> <p>当社の監査能力を補完し、品質保証システム監査の信頼性を高めるために、第三者機関であるビューローベリタス社が参加（原燃工監査に1名、メロックス工場監査に2名参加）した。</p>	
現地 監査期間	平成20年10月16日	平成20年10月20日～23日
監査方法	管理文書・記録の確認、現場確認、経営トップ他関係者へのヒアリング	
確認事項	<p>品質マネジメントシステムがISO9001:2000^()等の要求事項に基づき構築・維持されていること（ ）品質マネジメントシステムの国際規格</p> <p>製造管理（原燃工）および製造（メロックス工場）の業務プロセスとして、原燃工はメロックス工場を適切に管理・指導するための品質保証活動が適切に実施されていること、及びメロックス工場は原燃工の要求事項を満たすMOX燃料を製造するための品質保証活動が適切に実施されていること</p> <p>BNFL問題再発防止対策を反映した品質保証活動が適切に実施されていること</p> <p>輸入燃料体検査制度に適合するため、当社の要求事項を反映した品質保証活動が適切に実施されていること</p> <p>メロックス工場にて発生した先行電力向けMOX燃料製造時の製造管理用部品の組み込み事象に関する当社の要求事項に基づき品質保証活動が適切に実施されていること</p>	
監査結果	不適合に該当するものはなく、原燃工において、当社向けMOX燃料製造に係る品質保証活動が適切に実施されていることを確認した。	不適合に該当するものはなく、メロックス工場において、当社向けMOX燃料製造に係る品質保証活動が適切に実施されていることを確認した。

：詳細については、添付資料「定期監査の結果について」を参照下さい。

定期監査の結果について

確認項目	原子燃料工業熊取事業所	メロックス社メロックス工場
品質マネジメントシステムがISO 9001:2000 ^() 等の要求事項に基づき構築・維持されていること ()品質マネジメントシステムの国際規格	品質マニュアルの作成・維持、文書・記録の管理等の仕組みを維持している。 MOXプロジェクト会議を定期的に行い、適切な内部コミュニケーションが図られている。 メロックスに派遣する要員の体制を定め、その役割に応じた力量がもてるように計画的に教育・訓練が実施されている。 部品の製造およびメロックスへの供給が、適切に実施されている。	品質マニュアルの作成・維持、文書・記録の管理等の仕組みを維持している。 トップマネジメントが、社内誌に、日本電力による品質保証活動(監査、立会検査)を紹介した特集記事を掲載し、メロックス工場の従業員に対して日本の電力の活動への関心を高めさせている。 セーフティ・カルチャー(原子力の安全文化)に関する社外研修が開始されており、トップマネジメントから順番に、全社員が受講する計画が作成されている。
製造管理(原燃工)および製造(メロックス工場)の業務プロセスとして、原燃工はメロックス工場を適切に管理・指導するための品質保証活動が適切に実施されていること、及びメロックス工場は原燃工の要求事項を満たすMOX燃料を製造するための品質保証活動が適切に実施されていること	MOX燃料調達に係るプロジェクト計画書が作成され、適宜プロジェクト会議でレビューされ、改訂されている。 当社要求事項を含むメロックス工場への技術仕様書が、設計会議でレビューされた上で、契約書として作成、審査、承認されている。 プロジェクト計画書に従い、メロックス工場に技術者を派遣し、燃料集合体の組立装置の保守・点検調整を実施し、製造に向けた準備が進められている。 製造時の立会検査、定期的なサーベイランス、巡視を行うなどの仕組みが維持されている。	原燃工から提示される技術的要求事項および品質保証上の要求事項がメロックス内で実現できることを確認するために、トップマネジメントを含めたメンバーによりレビューされている。 原燃工の要求事項に応じて、製造工程および検査装置の認定試験を実施し、原燃工の承認を得る仕組みが整備されている。 製造工程を管理するオンラインシステムによって、誤った手順書の適用、作業ステップの間違い等の人的ミスを防止する仕組みが整備されている。
BNFL問題再発防止対策を反映した品質保証活動が適切に実施されていること	下記を含む当社の求める再発防止対策を実施するための仕組みが整備されている。 ・製造期間中に品質管理状況や作業状況の実態に応じた指導・監督ができるよう、要員の長期滞在等の措置を講じる。 ・品質管理データの統計処理により工程能力を確認する。 ・製造期間中に綿密な立会検査を行う。	設備の自動化等の不正防止策が図られている。 品質管理データのセキュリティが厳格に確保されている。 各組織の責任と権限が明確であり、検査員に対する管理者の監督が適切である。 異常時連絡体制が整備されている。
輸入燃料体検査制度に適合するため、当社の要求事項を反映した品質保証活動が適切に実施されていること	規制当局が必要に応じ、メロックス工場に立ち入ること、当社による第三者機関の活用を受け入れること等、輸入燃料体検査制度に係る要求事項が技術仕様書に明記され、要求されている。	規制当局が必要に応じ、メロックス工場に立ち入ること、当社による第三者機関の活用を受け入れること等、輸入燃料体検査制度に係る要求事項が、管理文書に定められている。
メロックス工場にて発生した先行電力向けMOX燃料製造時の製造管理用部品の組み込み事象に関する当社の要求事項に基づき品質保証活動が適切に実施されていること	再発防止対策としての要求事項が、原燃工とメロックス工場間の技術仕様書に明記されている。 ・原燃工は製品用の部品にのみ合格証を発行し、メロックスは合格証が付された部品のみを製品に使用する。 ・製造開始前に、合格証のついていない製造管理用部品をメロックス工場は全て廃棄し、その状況を当社および原燃工が確認する。 ・製造開始にあたり、製品用の部品以外の識別番号が製造開始指示書に記載されていないことを当社および原燃工が確認する。	先行電力の事象に関する要求事項が明記された原燃工の技術仕様書が契約後の会議でレビューされ、管理文書に反映される。

上記の状況について、第三者機関であるビューローベリタス社が、当社が計画に従って監査を適切に実施したことを確認している。